

## 令和7年度 第3回多治見市地域公共交通会議 意見交換要旨

### 1 概要

開催日時	令和7年11月20日（木）午前10時00分～午前11時00分
開催場所	ホワイトタウンバス停周辺
事務局	福田部長、小玉課長、内山課長代理、増田主査、外川主事
内容	自動運転バスに乗車後の意見交換・自由討論

### 2 委員出欠

氏名	所属等	出欠
磯部友彦	中部大学工学部教授	○
樋口恵一	大同大学建築学部准教授	○
木村治史	(財)岐阜県バス協会専務理事	○
永井泰孝	東濃鉄道(株)事業企画部バス事業担当部長兼安全推進担当部長	○ 代理 水野
岩村龍一	コミタクモビリティサービス(株)代表取締役社長	○
藤田明博	東鉄アシスト(株)取締役	○
稲垣健児	東濃鉄道労働組合中央執行委員長	×
加藤孝春	多治見市悠光クラブ連合会会長	○
諸星洋子	市民代表	×
大石悟	岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	×
高柿弘義	多治見砂防国道事務所道路管理課長	○
大脇哲也	岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課長	○ 随行者 2名
牧村潤一	岐阜県多治見土木事務所施設管理課長	○
平田宏保	多治見警察署交通第一課長	○
永田芳彦	多治見市道路河川課長	×
島津和世	多治見市福祉課長	○

### 3 自由討論

#### ○磯部会長

2年前に自動運転車両に乗車した経験があるが、当時と比較するとブレーキが優しくなったように感じる。自動運転の補助員はプロの運転手ではない人でも操作が可能であるため、自動運転にはそうした良い面もある。

#### ○樋口委員

車両のドアの開け閉めは手動で行っているか。車両がバス停を出発する直前に駆け込む人などには対応できるのか。

##### → NTT 西日本

基本的にドアの開閉は自動で行っている。一方、急な乗り込みには対応していないため、その場合は手動で開閉している。現時点では、自動で周囲にいる歩行者がバスに乗車するか否かの判断ができないため、今後の課題である。

##### → 磯部会長

自動運転は基本的に性悪説の考え方になるため、急な乗り込みへの対応は現時点では技術的に難しいと思う。

#### ○高柿委員

自動運転車両に搭載されているカメラはNTT 西日本が関与されているのか

##### → NTT 西日本

自動運転システム等の車両開発はすべて株式会社マクニカが行っている。

##### → 事務局

NTT 西日本は、東濃地域自動運転推進コンソーシアムの一員として、協働で自動運転を進めていただいている。

#### ○大脇委員（随行者を含む。）

① 岐阜市で運行している自動運転車両と同じ車種を使用しているか。

##### → NTT 西日本

岐阜市の車両は2つ前のバージョンとなり、当車両が最新の車種となる。

② 車両はガソリンを使用しているか、電気を使用して運行しているか。

##### → NTT 西日本

電気を使用して運行している。充電が満杯の場合、100km 走行できる。走行中は暖房や冷房等の空調設備にも電力が使用されるため、実際の走行距離は100kmよりも短くなる。

##### → 事務局

自動運転を実施するにあたり、多治見市第34区ホワイトタウン自治会が協力していただき、電源は自治会センターのものを活用させていただいている。別日の実験で1日の走行を終えても十分な充電量が残っていたため、1日は問題なく運行できることを確認している。

③ 路上に伸びた草木を危険物でないと認識し、緊急停止するようなことは今後なくなるか。

##### → NTT 西日本

この車両にはAIを搭載していない。現状、その判定は困難である。

○島津委員

車椅子利用者への対応は可能か。

→ NTT 西日本

座席下部にスロープを備えているため車椅子利用者にも対応している。一方、自動でスロープを出す機能は備えていないため、周囲の方や車両に乗っている方に協力していただく必要がある。

○水野委員

① 路線バスの場合、ピーク以外の昼間時間帯などは車内の利用者が着席したことを確認後に、発車するよう運転手に教育しているが、そのような対応はできるのか。

→ NTT 西日本

現時点では自動で対応していないが、遠隔監視では確認できる。遠隔監視から直接車内に呼びかけるような機能は備わっていない。

→ 事務局

現在は恵那市で全6市町村分の遠隔監視を行っている。将来的には事故等の緊急発生時に遠隔監視から現場へ駆けつける等の対応が課題になると考えている。

② ハイブリット車のような回生ブレーキで下り坂や減速時に発電しているか。

→ NTT 西日本

車両自体は発電能力を備えていないため、自治会センターの電源が供給源となる。

以 上